

特定外来生物

コクチバス

硬骨魚綱 スズキ目 サンフィッシュ科 *Micropterus dolomieu*

生態系被害防止
外来種リストの区分

緊急対策外来種

日本の侵略的外来種ワースト 100

世界の侵略的外来種ワースト 100

哺乳類

鳥類

魚類

は虫類

両生類

魚類

昆虫類

甲殻類

クモ類

貝類

植物

基礎情報

原産地

・カナダ南部、アメリカ合衆国中東部

現在の分布

- ・遊漁魚として移入され、世界各地で野生化している。
- ・国内では、北海道から九州で分布記録があり、東北から近畿地方に定着している。
- ・県内では、庄内川水系、天竜川水系などで確認され、定着している可能性が高い。

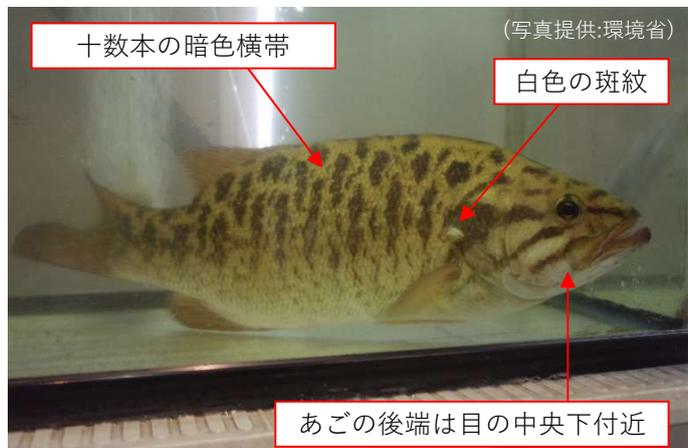


侵入の経緯

- ・オオクチバスとともに 1925 年に導入が試みられたが、定着しなかった。
- ・1990 年代に入って再び導入され、1991 年に野尻湖(長野県)で初確認され、その後、同県の木崎湖などで相次いで確認されるようになり、2002 年には分布が 35 都府県に急拡大した。
- ・釣り魚として人気があり、遊漁のための意図的な放流が分布拡大の原因と考えられている。

形態

- ・成魚は体長 30~50cm 程度になる。最大で全長 69cm のものも報告されている。
- ・体高が低い。口は大きく、あごの後端は目の中央下付近にまで達する。
- ・体色は黄褐色で、背部はやや暗色がかかり、腹部は白色に近い。十数本の暗色横帯が背から腹方向に見られる。
- ・口先から放射状に広がる暗色の模様がある。
- ・えらぶたの後端に白色の斑紋がある。
- ・ウロコは細かい。測線は背側の輪郭にほぼ並行してゆるやかにカーブし、頭部から尾ビレの付け根まで連続する。
- ・背ビレ中央のへこみはそれほど深くない。胸ビレはそれほど長くない。尾ビレの後端はごく浅く切れ込む。



生息環境

- ・池沼、ダム湖、河川の中下流域に生息する。
- ・原産地ではオオクチバスよりもやや寒冷な地域に分布し、流水環境も苦手としないため、オオクチバスよりも河川上流部で定着する可能性がある。

生態・ライフサイクル

- ・成魚は魚食性だが、甲殻類や昆虫類も捕食する。
- ・5～7月頃に繁殖する。原産地では春から初夏にかけて水温13～20℃であれば産卵する。オスが砂礫底にすり鉢状の産卵床を掘り、そこで産卵が行われる。産卵後はオスが産卵床を守り、卵と仔稚魚を保護する。体長10mm前後になった仔魚は親魚の保護を離れる。冬は深場に移動する。
- ・卵は沈性付着卵であり、直径は1.5～2.5mm。メス1匹当たりの抱卵数は5,000～14,000個であり、体サイズの大きなメスほど多くの卵を産む。
- ・全長は1年で約15cm、2年で22cmに達し成熟する。寿命は最長で15年。



生息地（内津川）

【ライフサイクル・防除推奨時期】



類似種との識別ポイント

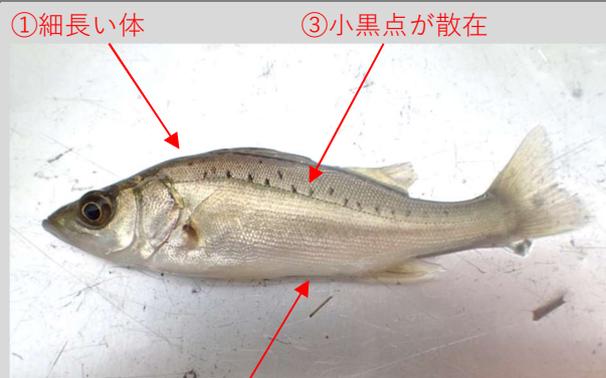
- ・類似種として、オオクチバス(特定外来生物)がいる。
- ・海域および河川の中～下流域に生息する在来種のスズキ(セイゴ)も本種に似る。

オオクチバス（特定外来生物）



- ①あごの後端は目よりも後ろ
 - ②背ビレ中央に深いへこみ
 - ③体側に黒斑列
- ①あごの後端は目よりも後ろにまで達する。
 ②背ビレ中央に深いへこみがある。
 ③体側に黒斑列があり、中央の1列が縦帯状になる。

スズキ（在来種、海域および河川下流域に生息）



- ①細長い体
 - ②小黒点が散在
 - ②体側から腹部にかけて銀白色
- ①体は全体的に細長く、体高は高くない。
 ②体側から腹部にかけて銀白色。
 ③背側や背ビレに小黒点が散在する個体もある。

哺乳類

鳥類

は虫類

両生類

魚類

昆虫類

甲殻類

クモ類

貝類

植物

影響・被害

- ・捕食や競争を通じ、魚類、甲殻類、水生昆虫等、様々な生物に直接的または間接的な影響を及ぼす。オクチバスが生息しにくい寒冷な水域や流れの早い河川などに侵入し、アユをはじめとする水産有用種やイワナなどの冷水性・準冷水性魚類を捕食するおそれがある。
- ・原産地では、季節内、季節間で 50km 以上移動した個体の記録があり、ひとたび水系に侵入すれば長距離を移動し、支流等に分散・定着することが危惧される。

生息・被害の確認方法

- ・水際を踏査し、水面近くを泳ぐ個体を目視確認する。双眼鏡等を併用するとよい。
- ・産卵時期に岸近くの浅い水底で産卵床を目視確認する。
- ・既存の研究調査に関する文献や目撃情報をインターネットや図書館で探す。釣果の投稿サイトを調べることも有効。
- ・地域の住民、釣り人、漁業従事者、専門家などを対象に聞き取りやアンケート調査を行う。



生息地（庄内川）

防除方法

- ・本種を他の場所に放さないよう周知を徹底するとともに、釣り、ワナ、網、電気ショッカー、池干し等により捕獲する。
- ・産卵床の攪乱、卵の採取、産卵床を守る親魚の捕獲など、繁殖を妨害して個体数を減らす。

推奨時期

- ・水温が上がり活動が活発になる 4～10 月の防除が推奨される（水温が低い冬はほとんど活動しなくなる）。
- ・産卵が行われる前（春～初夏）に捕獲を実施すると、卵を産む成体メスを集中的に捕獲できる。

具体的な防除方法

①個体の捕獲

- ・釣り（ルアー釣りよりエサ釣りの方が効率がよい）、ワナ（アイカゴ、アナゴワナ、小型かごワナ、セルびんなど、51 ページを参照）、網（刺網、投網、地引網、たも網、さで網など）、電気ショッカー（可搬式、ショッカーボート）等により捕獲する。池沼では同時に池干しを行うと根絶の可能性が高くなる（47 ページを参照）。
- ・捕獲した個体は原則としてその場で殺処理する。殺処理の方法として、氷締め、陸上での窒息、地中への埋設、物理的な殺処理などがある。
- ・殺処理後の最終処理は、一般廃棄物として廃棄する（各自治体の基準に従う）。食用とすることも可能だが、寄生虫対策として加熱処理が推奨される。

②繁殖の妨害

- ・産卵床に産卵された卵を取り除く、ふ化直後の仔稚魚をたも網等ですくい取る。
- ・人工産卵床を設置し、産卵された卵を駆除する（59 ページを参照）。
- ・小型 3 枚網を産卵床を横断するように設置し、産卵床を守るオス親を捕獲する。

【網の種類】

<p>刺網</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・流れの緩やかな場所で用い、魚類の通り道になるような場所に設置する。 ・目合の異なる複数の網からなる2枚網や3枚網は魚類の捕獲に有効。 	<p>地引網</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・遠浅の湖沼など、水底の枯木や岩などの障害物が少ない場所で用いる。 ・おもりが浮き上がらないよう、引き上げのスピードに十分留意する。 	哺乳類
<p>投網</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・開けた場所や、立木や岩などの障害物が少ない場所で用いる。 ・投てきにはある程度熟練を要する。 	<p>たも網 さて網</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・どのような環境でも使用可能。 ・抽水植物等の下流側に網を置き、隠れている個体を足で追い込む。 	鳥類
		は虫類
		両生類

作業上の注意点等

- ・防除作業を行う前に、対象地の所有者・管理者の承諾を得る。必要に応じて、地域住民にも防除の目的や活動内容を周知する。
- ・生きたまま保管・運搬等することは原則禁止されているため要注意（行う場合は手続等が必要）である。
- ・背ビレ、腹ビレ、尻ビレに鋭いトゲがあり、体表にぬめりがあるため、手をつかむ際には保護手袋（軍手等）を着用する。
- ・本種が生息する池には、水草や枯れ枝に引っかかったルアーやワーム、切れた釣り糸などが放置されていることがあるため、これらでケガをしないよう注意し、可能な限り回収する。
- ・触った後は必ず石けんなどを使って十分に手洗いをする。



放置されたルアー

必要な法令上の手続き等

- ・愛知県漁業調整規則に基づく特別採捕許可（漁法や漁具により必要となる場合がある）

出典・参考資料

- ・侵入生物データベース > 日本の外来生物 > 魚類 > コクチバス（国立研究開発法人 国立環境研究所）
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/50320.html>
- ・日本の外来種対策 > 特定外来生物の解説 > コクチバス（環境省 自然環境局）
<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/L-sa-06.html>
- ・日本の外来種対策 > 外来種写真集（環境省 自然環境局）<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>
- ・特定外来生物同定マニュアル 魚類（環境省 自然環境局）https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/5hp_gyorui.pdf
- ・オオクチバス等の防除の手引き（改訂版）（環境省 自然環境局,2014）
- ・だれでもできる外来魚駆除 3～オオクチバス、コクチバス、ブルーギルの最新駆除マニュアル～（水産庁・国立研究開発法人水産研究教育機構・全国内水面漁業協同組合連合会,2021）
- ・STOP！移入種 守ろう！あいちの生態系 ～愛知県移入種対策ハンドブック～ 付属資料 愛知県の移入動植物 ブルーデータブックあいち 2012（愛知県,2012） p.88 コクチバス（谷口義則）

哺乳類

鳥類

は虫類

両生類

魚類

昆虫類

甲殻類

クモ類

貝類

植物